

特別支援学級等に関するアンケート調査について

日野市教育委員会では、今年度中に「第5次日野市特別支援教育推進計画」を策定するにあたり、特別支援学級（固定学級）に在籍する児童・生徒の保護者の方に、小学校や中学校で行われている特別支援学級や特別支援教育などについての状況とご意見等を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

今後、この調査結果を参考に、特別支援教育の推進計画の策定及び更なる充実、推進を図ってまいりたいと考えております。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理するとともに、適正に取り扱い調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年7月

日野市教育委員会

このアンケート調査は、特別支援学級（固定学級）に在籍する児童・生徒の保護者の方に、調査票をお送りしています。

＜調査票の記入等にあたって＞

- ・調査票は無記名です。回答者が特定されることはありません。
- ・質問は、11問です。調査票にお答えいただき、返信用封筒に入れて特別支援学級の担任にお渡しください。
- ・特別支援学級への締め切りは、7月19日（金）です。
- ・特別支援学級において、期日までに提出のあった調査票（返信用封筒）を取りまとめた上、封筒を開封せず日野市教育委員会に送付されます。

【お問合せ先】

日野市教育委員会 教育部 教育支援課（エール＜発達・教育支援センター＞内）

担当：土方・加藤

電話：042-589-8877

FAX：042-514-8740

《アンケート調査票：固定学級用》

■以下は、該当する番号を選んで○をつけてください。また、()にも記入をお願いします。

- 1 お子さまのことについてお答えください。
 - ① 小学校 () 年に在籍
 - ② 中学校 () 年に在籍

- 2 在籍する特別支援学級は、どの種別の学級かお答えください。
 - ① 知的障害固定学級
 - ② 自閉症・情緒障害固定学級 (中学校のみ)

- 3 特別支援学級には、何年生から在籍していますか。
 - ① 小学校 () 年生より
 - ② 中学校 () 年生より

- 4 特別支援学級を選ばれた理由について、お答えください。(複数回答可)
 - ① 子どもの特性を踏まえて支援が必要と思ったから
 - ② 通常の学級での学習や生活が難しいと思ったから
 - ③ 教育内容・指導方法等が子どもに合っていると思ったから
 - ④ 将来の子どもの進路を考えたから
 - ⑤ その他 ()

- 5 特別支援学級を選ぶにあたって、就学相談員以外で相談した機関等について、お答えください。(複数回答可)
 - ① エール＜発達・教育支援センター＞
 - ② 子ども家庭支援センター、福祉関係部署など
 - ③ 幼稚園・保育園の園長・担任
 - ④ 幼稚園・保育園に派遣されている臨床心理士
 - ⑤ 学校の校長・担任等
 - ⑥ 学校に配置されているスクールカウンセラー
 - ⑦ 学校に派遣されている巡回相談員
 - ⑧ 特別支援学校の相談窓口
 - ⑨ 病院・医療機関
 - ⑩ 民間の相談機関
 - ⑪ その他 ()

- 6 お子さまが特別支援学級に在籍していることで、良かったと感じているところは何か。(複数回答可)

《アンケート調査票：固定学級用》

- ① 本人が自信を持って、楽しく学校に行くようになった
- ② 本人の特性にあった学級に通い、成長している
- ③ 将来の進路に向けて、準備をすることができる
- ④ その他 ()

7 特別支援学級に期待することをお答えください。(複数回答可)

- ① 個別指導の充実
- ② 小集団指導の充実
- ③ 教員の指導力向上
- ④ 学習環境の充実
- ⑤ 生活習慣の自立
- ⑥ 進路指導の充実
- ⑦ 特別支援学校との連携
- ⑧ 障害への理解啓発
- ⑨ 通常の学級との交流及び共同学習
- ⑩ 支援内容の提供、保護者との情報共有
- ⑪ 支援情報の引き継ぎ、他関係機関との連携

8 エール（発達・教育支援センター）について

日野市では、平成 26 年 4 月に 0 歳から 18 歳までの発達面、行動面、学校生活において支援を必要とする子供、子供の育ちに不安のある保護者の総合的な相談支援機関としてエール（発達・教育支援センター）を開設しました。エールでは、福祉と教育が一体となった総合的、継続的な切れ目のない支援を行っており、教育委員会における特別支援教育の業務も含まれます。

エールの取組についてどう思いますか。

- ① 期待している
- ② 期待していない
- ③ わからない

9 「かしのきシート」について

エールでは、0 歳から 18 歳までの発達に遅れまたは偏りのある子供を中心に、切れ目なく支援の経過を記録していく「かしのきシート」（個別の支援計画）の作成に取り組んでいます。平成 28 年度には電子運用化を実施し、教育委員会で行っている個別指導計画や、就学・進学支援シートの内容も一体化しました。「かしのきシート」について、どう思いますか。

- ① 期待している ()
- ② 期待していない ()
- ③ わからない

※ () は、期待している・期待していない内容を記載してください。

10 特別支援教育の推進や充実に向け、日野市教育委員会に期待することをお答えください。(複数回答可)

《アンケート調査票：固定学級用》

- ① 相談支援体制の充実
- ② 特別支援学級（固定学級）の充実
- ③ 教員の指導力向上
- ④ 介助員・学級支援員の配置
- ⑤ ステップ教室（特別支援教室※1）の充実
- ⑥ リソースルーム（※2）の充実
- ⑦ ひのスタンダード（※3：通常の学級での特別支援教育）の充実
- ⑧ 関係機関との連携
- ⑨ 支援情報の引継ぎによる切れ目のない支援
- ⑩ 障害の理解啓発

※1 都内の公立小学校では、各小学校に「特別支援教室」を設置し、児童が「情緒障害等通級指導学級」に通う体制から、教員が巡回して児童の在籍小学校で指導を行う体制に移行しました。日野市教育委員会では、特別支援教室を「ステップ教室」として、全小中学校に開設しています。

※2 「リソースルーム」とは、日野市独自の取組で、小学校の通常の学級で発達障害等により学習に困り感のある児童に対して、個別に学習する教室のことです。全小中学校に設置しています。

※3 「ひのスタンダード」とは、通常の学級での特別支援教育として、小・中学校の通常の学級において、特別支援教育の視点を活かした環境や指導等を行っている取組です。

- 1 1 市の特別支援教育やエール（発達・教育支援センター）などの取組について、ご意見・ご感想などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました